

# 人間環境学部：研究会募集の概要

## 研究会（ゼミナール）とは？

担当教員の掲げるテーマや専門分野に応じて、少人数クラスで開講されます。

参加は2年生から可能です。研究会 A（通称 A ゼミ）と研究会 B（通称 B ゼミ）の2種類があります。募集・選考は前年度の秋学期に行われます。

研究会は必修ではありませんが、「コース制（RSPを除く）」にもとづく学習・研究の要であり、自分の勉強の「居場所」になるといえる、教員や学友との交流の場です。

募集に先立って行われるゼミ生主体の相談会や、募集期間のオープンゼミなども参考に、ぜひ積極的に参加してください。

タイプ	開講期間	備考
研究会 A (A ゼミ)	通年(4 単位)	<ul style="list-style-type: none"><li>原則として同じゼミで4年次まで継続履修する。</li><li>研究会に応じて、4年次に研究会修了論文の作成を課す。 (研究会修了論文は秋学期科目として2単位となる)</li><li>2つ以上の研究会 A の重複履修は不可。</li><li>研究会 B との重複受講は可能(担当教員の指示がある場合がある)。</li><li>研究会の関連コースと、学生の所属コースは、必ず一致している必要がある。</li></ul>
研究会 B (B ゼミ)	ゼミにより異なる。 通年(4 単位) 春学期/秋学期のみ(2 単位)	<ul style="list-style-type: none"><li>原則として1年ごとに受講者を募集し、連続受講は義務付けられていない。</li><li>4年次にコース修了論文を書くことができる。</li><li>研究会 A、他の研究会 B と重複履修することができる。</li><li>担当教員が認めれば所属コースと一致している必要はない。</li></ul>

## ★研究会 A（通称 A ゼミ）『専門性を深める軸として、「実践知」を養う』

4年次まで継続参加が原則で、4年秋学期に「研究会修了論文」(2単位)を執筆することができます。他の A ゼミとの「かけもち」は出来ません。

ゼミごとに、関連コースが設定されています。A ゼミへの参加が決まった場合、所属コース(今年度1月に申請、2年次から所属)は、その A ゼミの関連コースになります。(それ以外のコースへは登録できません。)所属コースと違う A ゼミへ3年生から変更したい場合は、コース変更を行う必要があります。(コース変更は3年進級時のみ可、申請は前年度中)

## ★研究会 B（通称 B ゼミ）『専門性の修得に、柔軟に活用できる』

A ゼミ・B ゼミの別は、グレードの違い(A>B)ではなく、性格の違いによります。B ゼミは1年毎の参加が基本です。しかし年度を越えて継続することが可能なゼミもあり、研究会修了論文に準じた「コース修了論文」(2単位)を4年次に書くこともできます。このように A ゼミと同様に学びの「軸」とすることも出来れば、実務の修得や「専門教養」を深める場として、いわば「第二の専門性」を身につけるのに最適なゼミもあります。

B ゼミは、A ゼミや他の B ゼミとの「かけもち」が可能です(ただし、B ゼミとのかけもちを認めていない A ゼミもありますので、担当教員に確認してください)。また、所属コースと B ゼミの関連コースは、担当の先生が認めれば、一致している必要はありません。

## <注意事項>

- 研究会の履修登録は2022年度に行います。
- 研究会に関する担当教員からの指示は学習支援システムに掲載されます。見落としのないようにしてください。
- 選考や受講意思表示の際に教員へメールを送る場合、必ず PC のメールアドレス(法政大学付与の Gmail)から送信してください。携帯のアドレスから送信した場合、未着となるケースがあります。
- コース登録は研究会募集後の1月以降に行われます。

コース制については、「2021年度人間環境学部履修の手引き」P.18「C.5 コース制」を参照してください。

<https://hosei-hondana.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtTj05NjQ1OH0=&detailFlg=1&pNo=1>